

# 第3学年5組 図画工作科学習指導案

指導者 田辺 久美子

1. 日時・場所 平成19年12月5日(水)5校時 13:35~14:20 図工室

2. 題材名 「切って切ってトントントン」 4時間扱い(造形遊び)

## 3. 活動の指針(活動を通して育てたい力)

### a- 造形活動の楽しさ

手や体全体の感覚など持てる力を働かせ、思いのままに選ぶ、試す、表すなど、その課程を楽しむとともに、自分なりの表し方を見つけ、新たなよさや美しさ、おもしろさなどを味わうことを大切にしていく。

## 4. 活動の指針と題材のかかわり

3年5組(男子16人、女子16人の計32人)の児童は、明るく元気で何事にもがんばって取り組もうとすることができる。一方、自分の考えや思いをもっているものの、それをみんなに分かるように表現することを苦手とする児童もいる。そのため、元気で活発な児童だけでなく、発言しないおとなしい児童の思いも取り入れながらできるようにしてきている。

図工に関しては、楽しみにしている児童が多い。後期になり週2時間となった図工を心待ちにしているのが伝わってくる。中でも「風パワーゼンかい」のようにつくった後に動かして遊べるような工作が好きで、いろいろな材料を集めて、工夫を凝らしながら風の力で走る車を思い思いにつくっていた。つくっている過程で、友だちのアイデアのよさに気づいて認め合うことができたり、参考にしたりする姿が見られた。しかし、絵の具を使うのは好きだが、絵で表現することを苦手としている児童もいる。見ていると、表したい思いはあるのだが、自分の思うように描くことができないことに苦労しているようである。そのため、教室の学級文庫に作品集を置いて、普段からいい作品を目にする機会を持てるようにしたり、途中鑑賞を取り入れて友だちから発想のヒントや表現の工夫を得る機会を設けたりしながら学習を進めてきた。

この題材は、これまで空き箱や食品トレーなどのような身近材料を使って行ってきたものづくりと違って、初めての材料である木切れや枝を使用する。児童が学校生活の中で木切れや枝を使ってどのような体験活動をしてきたのか振り返ってみると、生活科の「秋とあそぼう」で自分たちが拾い集めた木の実と枝を組み合わせて作品づくりをした。校内の柿を収穫し、枝がついた柿を手にした感動を絵手紙に表した。遠足に行って木登りをし、太い枝にまたがってシーソーのように遊んだ。といった体験がある。また、児童の中には、夏休みの「親子工作教室」で初めてのこぎりを使ってつくった靴入れや本箱や木琴を持ってきた児童がいる。友だちがつくった木琴を手にして長さや種類によって音が違うことをたいて楽しむ児童の姿が見られた。多くの児童は、のこぎりを手にするのさえ初めてである。しかし、初めてであるがゆえにとっても楽しみにしているようである。

この題材では、数多くの木切れや枝を並べる、重ねる、組み立てるという行為を十分楽しむことにある。材料となる木切れをつくるために、のこぎりで切ることに始まり、木切れ同士を接着剤や釘などで接合するなどの行為を通して、木の持つ特性を五感で感じてほしい。たくさん木切れや枝を組み合わせて、自分の思いが表現できるように重ね方や組み立て方を考え、気に入った形を見つけていくことを楽しんでほしいと思う。

## 5. 本年度の研究の重点として

### (1)「思いがふくらんでいく」ための具体的な手立て

本題材では、児童の発想を引き出すために材料となる木材をいろいろ集めることにした。夏休みに行われる「親子工作教室」で使われた木材の残りをもらったり、夏休み前から学年だよりで保護者に知らせたりして協力してもらうことにした。これまでに大工さんをしている保護者の方が、廃材となった木材をたくさん寄付してくれたり、初めてのこぎりを使う児童のことを考えて切りそろえてくれ

たりした。また、児童が持ってきた木材にも大きすぎるものについては手を加える必要があったので、長さや形や大きさや厚さが多種多様になるようにあらかじめ切って準備をした。

一次では、のこぎりを使って木を切ることに関心してもらいたいと考えた。そのため、この後何をするのかを伝えなかったり、初めからいろいろな形の木をあえて見せなかったりした。自分がのこぎりを使って苦労しながら切った木に愛着を持って、それらを並べる、重ねる、組み立てる活動をしたり、準備した木材を加えたりしながらイメージを広げていってほしいと考えている。

木材を調達していく過程で、ボランティア団体の方に出会うことができた。児童にとっては日頃から目にする木だが、実際に手にとって切ったり組み立てたりすることは初めてに近い体験である。そのため、児童に木を身近に感じ、そして限りある資源を大切に使うという心を育てていくために木を愛する関さんを講師に招いてお話をさせていただくことにした。関さんには、森林を育てるためには間伐が必要となり、そこで切られた木は廃材となって捨てられるのではなく、家の柱や家具、さらには木製小物などの製品に生まれ変わっていることを話してもらった。この講話を通して、児童がさらに木に関心をもって作品づくりに取り組み、「作品として生きる」ということを感じてもらいたいと思う。

## (2)「思いをふくらす創造的な技能」のための具体的な手だて

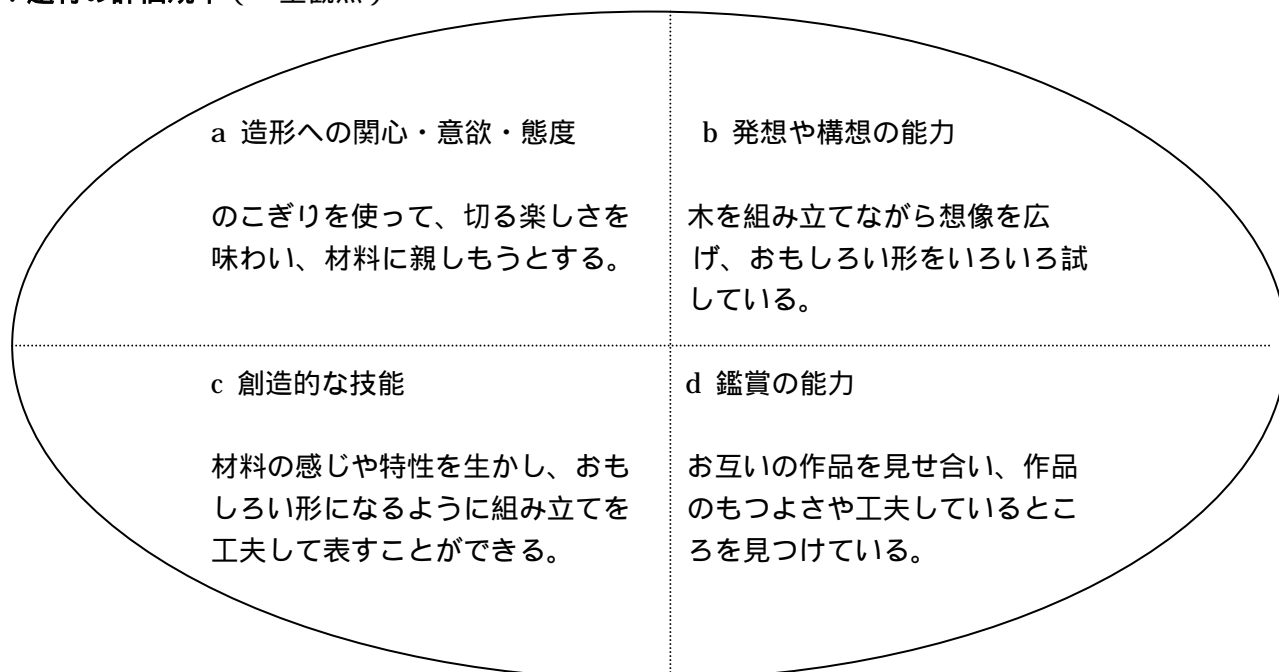
ある児童によっては、自分で切った木にこだわりのこぎりを使って「切る」、ある児童は「組み立てる」ことに、ある児童は積み木のように「積んだり並べたり」することに着目するなど、児童の活動は多岐にわたる。一人ひとりの思いや願いをしっかり受け止め、適切な声かけをしていきたい。また、友だちの活動や作品に目を向け、教えてもらったり参考にしたりする活動を通して、自分の作品づくりに自信をもてるように支援していきたい。

児童が木とのふれあいを通していく中で、「切る」「組み立てる」「並べる」「積む」などの活動が予想される。形や大きさや長さなど様々な木を児童の目の前に置き、すぐに手にとって思い思いの活動ができるようにする。組み立てるにしても、全て釘を使ってつなぐことは難しいので、児童の発想がくじけることなくできるように、すぐに接着できるものを用意しておき、活動がスムーズに行われるように工夫する。

## 6. 題材のねらい

のこぎりを使って、木をいろいろな長さに切って、その形から思いを広げたり、並べたり重ねたり組み立てたりして活動を楽しむ。

## 7. 題材の評価規準（重観点）



## 8. 準備

《児童》木切れや枝 絵の具

《教師》木切れや枝 のこぎり 金づち くぎ 万力 木工ボンド ホットボンド

## 9. 指導と評価計画（4時間扱い）

時間	活動内容 予想される子どもの姿	教師の働きかけ 評価規準・評価方法
一次 (一時間)	<div style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <b>切って切って！！</b> </div> <p>のこぎりの正しい使い方を知る。 のこぎりを使ってみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・のこぎりは初めて持つよ。</li> <li>・ぎざぎざがいっぱいあってこわいな。</li> <li>・まっすぐ切れたよ。</li> <li>・もっともっといっぱい切りたいな。</li> <li>・小さく切りたいな。</li> </ul> <p>のこぎりの使い方が分からずにいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木が動いて切りにくいな。</li> <li>・のこぎりがまっすぐ動かないよ。</li> </ul> <p>金づちの使い方を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・切った木に釘を打つ。</li> </ul> <p>釘がうまく打てずにいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・釘が曲がっちゃうよ。</li> </ul>	<p>はじめからつくるものを決めて木を切るのではなく、まずは木を切るという行為を思い切り楽しめるようにする。</p> <p>のこぎりの使い方をやって見せ、切る時の姿勢を伝える。持ち運びと置き方などの安全面について確認する。</p> <p>のこぎりの刃の使い分けについて教える。 長い棒状の木を切ることから始める。切った木は、自分が使う物として各自が大切に保管させる。</p> <p>木が小さかったり押さえにくかったりしたら、万力を使用させる。</p> <p>金づちの使い方を知らせる。 (金づちは釘の頭に対して直角に打つ。平らな面と凸の面の打ち分け方。)</p> <p>錐で小さな穴をつけてから釘を打つとやりやすいことを伝える。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【関】【技】 活動の様子・つぶやき・作品</p> </div>

<p>二次（二時間） 2 / 4（本時）</p>	<div data-bbox="418 143 1163 228" style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 5px;"> <p>切ってどんどん組み立てよう！！</p> </div> <p>切った木を使って遊ぼう。 お気に入りの形を探している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積み木みたいに積んでみよう。</li> <li>・長く並べてみよう。</li> <li>・おもしろい形にしよう。</li> <li>・階段みたいに置いてみよう。</li> </ul> <p>お気に入りの形が見つかったら、組み立てている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・釘を使おう。</li> <li>・ボンドを使うとはばのせまい所をとめられたよ。</li> <li>・釘が打てたよ。</li> <li>・釘を最後まで打たずに飾りにしてみよう。</li> <li>・まっすぐ打つのは難しいな。</li> </ul> <p>どうつないでいいかわからずにいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな形でつなごうかな。</li> <li>・何度やっても釘が曲がっちゃうよ。</li> <li>・金づちで手を打ちそうでこわいな。</li> <li>・釘を打ったのにぐらぐらするよ。</li> </ul> <p>途中鑑賞をして友だちの作品の楽しいところや工夫しているところを見つける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・つなげ方がおもしろいね。</li> <li>・まるで みたいだね。</li> <li>・どうやって作ったの？教えてよ。</li> </ul>	<p>切った木の形から見立て遊びをしたり、並べたり積んだりしながら、思いがふくらむようにする。</p> <p>自分が切った木だけでなく用意した木やかごの中にある木も使ってよいことを知らせる。</p> <p>釘は5種類を用意する。（長さ、太さが違う釘）組み立てていくうちにつくるものが思いつくので、全てを釘で打つのではなく、ホットボンドや木工用ボンドを使用してもよいことを知らせる。</p> <p>友だちが並べたり作ったりしている様子を見せたり、釘の打ち方の支援をしたりする。</p> <p>制作途中にお互いの作品を見合う時間を設け、友だちの作品の工夫を取り入れてよいことを伝える。</p> <p>木に色をつけたい児童には、絵の具で色づけをしてもいいことを伝える。</p> <div data-bbox="839 1435 1350 1520" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>【発】【技】【鑑】 活動の様子・つぶやき・作品</p> </div>
<p>三次（一時間）</p>	<p>できたものを見せ合って、そのよさを伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上手に形を組み合わせたね。</li> <li>・つなぎ方に工夫があるね。</li> </ul>	<p>材料の生かし方や発想のすばらしさなど、お互いのよさを感じ取れるようにする。</p> <div data-bbox="855 1682 1350 1767" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>【鑑】 活動の様子・鑑賞カード</p> </div>

10・本時の学習活動（2 / 4時間）

- (1) 目標 のこぎりを使って切った木切れや枝から思いを広げ、並べる、重ねる、組み立てるなどの活動を楽しむ。
- (2) 展開

子どもの主な活動内容 予想される子どもの姿	教師の働きかけ 評価規準（評価方法）
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <h2 style="margin: 0;">切ってどんどん組み立てよう！！</h2> </div>	
<p>本時の活動を知る。</p> <p>切った木を使って遊ぼう。 お気に入りの形を探している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積み木みたいに積んでみよう。</li> <li>・長く並べてみよう。</li> <li>・おもしろい形にしよう。</li> <li>・階段みたいに置いてみよう。</li> </ul> <p>お気に入りの形が見つかったら、組み立てている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・釘を使おう。</li> <li>・釘が打てたよ。</li> <li>・ボンドを使うと釘が打ちにくいところが見ついたよ。</li> <li>・釘を最後まで打たずに飾りにしてみよう。</li> <li>・まっすぐ打つのは難しいな。</li> </ul> <p>どう組み立てていいかわからずにいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな形でくっつけようかな。</li> <li>・何度やっても釘が曲がっちゃうよ。</li> <li>・金づちで手を打ちそうでこわいな。</li> <li>・釘を打ったのにぐらぐらするよ。</li> </ul> <p>必要な木を切る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まだまだのこぎりで木を切りたいな。</li> <li>・同じ長さの木がほしいから切ってみよう。</li> </ul> <p>途中までの作品を紹介しながら、本時の活動のふり返しをする。</p> <p>友だちの作品のよさを認め合っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・くっつけ方がおもしろいね。</li> <li>・まるで みたいだね。</li> <li>・どうやってつくったの？今度教えてもらいたいな。</li> </ul>	<p>全体的見通しをもって学習に参加できるように、活動時間の確認をしておく。</p> <p>切った木の形から見立て遊びをしたり、並べたり、積んだりしながら、思いがふくらむようにする。</p> <p>自分が切った木だけでは発想が広がっていかないの、各班の机にいろいろな木が入ったかごを置いておき、それも使ってよいことを伝える。</p> <p>釘は5種類を用意する。（長さ、太さが違う） 組み立てていくうちにつくるものが思いつくので、全てを釘でつなげるのではなく、ホットボンドや木工用ボンドを使用してもよいことを知らせる。</p> <p>友だちが並べたりつくったりしている様子を見せたり、釘の打ち方の支援をしたりする。友だちの作品の工夫を取り入れてよいことを伝える。</p> <p>活動する中で、のこぎりを使いたい場合は安全に気をつけて使ってよいこととする。</p> <p>どんなことができたか、活動した楽しさについて発表させる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【発】自分で切った木の形から発想し、他の木を組み合わせることで、新しい思いをふくらませている。</p> <p>【技】のこぎりや金づちを安全にを使って表したい形に切ったり、切った物を組み立てたりして工夫している。</p> </div>